



武庫の宝

令和7年 11月



三田市立武庫小学校長 大向 勲

先日、職員室前を歩いていて、ふと運動場に目をやった時「去年は気づいていなかった！」と愕然と（おおげさですが）したことがありました。フェンス沿いに真っ赤に色づく樹木。写真を撮ってスマホで「調べて」みると「モミジバフウ（紅葉葉楓）」という落葉樹だと知りました。昨年もきっとこれだけ色づいていたはずなのに、そこに全く気付かず1年たったことになります…

私たちは、日々どれだけ多くのことを見逃し、価値発見できずに終わっているのでしょうか。一面的に物事を捉え、思い込みで評価しているかもしれない、そんなことを感じながら、ちょうど1年生が秋見つけでこの木の見上げる姿を見ながら、きっとそれぞれが価値発見しているんだろうなとほほえましく思いました。

今年も感動的な音楽会を10月25日に開催することができました。たくさんの保護者・地域みなさまに見守られながら子どもたちは素晴らしい経験をすることができました。拍手に迎えられながら誇らしげに入場する瞬間、物音ひとつない静寂の中、自分たちの演奏が始まるまでのあの空気感、そして演奏を終えた後の感情…当日までに子どもたちひとりひとりそれぞれがそれぞれの形で取り組み、それを「みんな」でひとつのものに仕上げていく。そこまでには教師と、そして本校の誇るべきボランティアのみなさんの力があってのことであり、感謝の思いでいっぱいです。音楽会当日に子どもたちが入場する合間に楽器等の確認、配置、準備。そして観覧席への入退場を含めての声掛けや誘導、子どもたち体育館入場時のあたたかい拍手…目に見えているものはもちろんですが、各学年それぞれ練習が始まってから当日までの一か月以上にわたり本当にお世話になりました、ありがとうございました。「教育」が行われる学校でこのように保護者・地域の皆様にサポートいただけることを当たり前とせず、「つながり育む幸せな学校」の実現を目指していきたいです。「育む」を「羽包む」やハグ+酌む（汲む）と表すこともあるそうです。これらの文字に込められた思い、相手の思いや事情を押し量り、慈しむ心を大事にしたいものです。

